

もう治らない...とあきらめていませんか？

こんな方は、ぜひ当センターへ

慢性創傷はこれまで治療が難しいと言われて、「仕方がない…」とあきらめてしまわれる方も多くいらっしゃいました。しかし、もうあきらめる必要はありません。専門医を中心とした医療チームにより適切な処置を施せば、決して治療不可能な傷ではなくなりつつあるのです。お悩みの方は、まず熊本機能病院の創傷ケアセンターにご相談ください。徹底した原因追及とチーム医療で治療に当たらせていただきます。

糖尿病や血行障害による傷が治りにくくて困っている。



受診方法

お電話にてご予約ください。
当センターは完全予約制です。

1.ご予約

お電話にてご予約を承ります。

熊本機能病院 創傷ケアセンター

TEL.096-345-8111

予約受付時間:9時~17時(土・日・祝を除く)

2.診察

診察は、毎週月曜日、午後2時~5時に行っております。医師による診察の後、必要があれば検査を受けていただきます。診察終了時に、次回の診察をご予約ください。

3.再受診

基本的に週1回、もしくは2週間に1回のペースで通院していただき完治をめざします。場合により入院の上、検査・治療を行うこともあります。

創傷ケアセンターへの アクセスマップ



医療法人社団 寿量会

熊本機能病院 創傷ケアセンター

〒860-8518 熊本市山室6丁目8番1号

TEL.096-345-8111 FAX.096-345-8188

ホームページ <http://www.juryo.or.jp> Eメール sousyo@juryo.or.jp

創傷ケアセンター

「創傷ケア」について

創傷とは傷のことですが、数週間以上も治らない創傷を「慢性創傷」と呼んでいます。慢性創傷には、静脈不全性の傷・動脈硬化症を伴う血流障害による動脈不全性、糖尿病の方にみられる糖尿病性の足の病変、骨の変形が原因で起こる潰瘍など様々なものがあります。現在、日本では、これらの疾患に対する治療成果は必ずしもよくないのが実情です。

この度、当院では、足の治療の先進国であるアメリカの技術を取り入れた専門外来、創傷ケアセンターを設立しました。足の傷が治らない、足が壊れて切断を勧められたなど、難治性創傷でお困りの患者様は、一度当院にご相談ください。



医療法人社団 寿量会

熊本機能病院

創傷ケアセンターとは?

慢性創傷治療専門のセンターです。

専門的な訓練を受けた医師と看護師を中心とした医療チームにより、一般的には治療が困難とされる慢性創傷の治療に取り組めます。

外来で、短時間で集中治療します。

創傷ケアセンターでは、外来受診による治療を基本としています。短時間で集中的に治療を行い、また自宅での創傷処置もサポートしていきます。約80%の方が14週間程度で治癒が可能です。

多様な創傷に対応します。

糖尿病性下肢潰瘍、血行障害による潰瘍など、慢性創傷の原因は実にさまざまで、症状も治療法も大きく異なります。当センターでは多様なタイプの創傷に対応しています。



MILLENNIA

足の治療の先進国アメリカの
ミレニア・ウンド・マネジメント社との
提携により、最新の医療を実現。

アメリカの医療コンサルティング会社であるミレニア・ウンド・マネジメント社は創傷治療の専門的なプログラムを確立しており、アメリカで大きな実績を残しています。当センターの医師や看護師は専門的なトレーニングを受け、ミレニア社の確立されたプログラムに基づいて治療を行います。

●どんなことでもお気軽に、当センターへご相談ください。

お電話にてご予約を承ります。

熊本機能病院 創傷ケアセンター

TEL.096-345-8111

予約受付時間:9時~17時(土・日・祝を除く)



創傷ケアセンターにおける治療例

糖尿病性潰瘍

例1



70歳男性、糖尿病、
左第一趾壊疽、骨髄炎発症。



定期的なデブリードマン施行。



保存的治療により治癒。

糖尿病性潰瘍

例2



閉塞性動脈硬化症、糖尿病。



血管バイパス術・
デブリードマン・
断端形成術施行。



治癒。